



取締役会長  
豊田 鐵郎

取締役社長  
大西 朗

繊維機械ショールーム  
(愛知県刈谷市)の  
G型自動織機の前で

## ごあいさつ

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2013年度の経済情勢を概観しますと、世界経済は、中国や東南アジアなどの新興国では一部に弱い動きが見られましたが、概ね回復基調のうちに推移しました。国内においては、金融および財政政策の効果により、個人消費や企業の生産が増加し、雇用環境や賃金も改善するなど、景気回復へ向けた好循環が現れはじめました。

こうした情勢のなかで、当社グループは、品質第一に徹してお客様の信頼にお応えするとともに、各市場の動きに的確に対応して、販売の拡大に努めてきました。その結果、2013年度の業績は、売上高、営業利益、経常利益、純利益とも過去最高を達成することができました。

今後の経済の見通しについては、世界経済の持続的な回復、また国内では政府の新たな成長戦略などに基づいた本格的な景気回復が期待されています。しかし一方では、中国経済の動向は注意を要すると思われ、また、米国での金融緩和縮小、国内での消費税率引上げの影響などの不安要素もあり、企業を取り巻く環境は引き続き予断を許さない状況にあると思われま

す。このような環境下において、当社グループでは、より強固な経営基盤を築き、企業価値の一層の向上に向け、グループの総力をあげて経営課題に取り組んでまいります。

当面の課題としては、急激な事業環境の変化にも対応できるよう、筋肉質な企業体質を維持・向上してまいります。具体的には、品質・原価を設計段階から徹底的につくり込むとともに、開発から販売にいたる製品リードタイムの短縮と原価改善活動に取り組みます。また、世界の競争を凌駕する新技術の開発を進め、各地域の特性やお客様のニーズに応じた競争力のある商品を企画・開発していく計画です。さらに、グローバルでの生産・販売体制の構築や幅広いサービスを提供するためのバリューチェーンの拡大をはかっていきます。

一方、中期的には、品質第一を基本に、環境・安全への対応と国際競争力の向上を重要課題として捉え、お客様のニーズを先取りする商品・サービスを継続的に提供することにより、世界の産業・社会基盤を支え、豊かな生活と温かい社会づくりに貢献することをめざしていきます。

今後も、2020年ビジョンに示しましたとおり、3E (Environment, Ecology & Energy) をキーワードに、環境に優しい、省エネ型の商品を開発し、お客様が求める機能・サービスを加え (Value Chain)、世界中 (World Market) にお届けすることにより、産業車両、物流、繊維機械などの「ソリューション」、カーエアコン用コンプレッサー、エレクトロニクスなどの「キーコンポーネント」、車両、エンジンの「モビリティ」の3つのビジネスユニットを成長させる考えです。また、2015年度までの具体的な方策をビジネスユニットごとに定めた中期経営計画に基づき、2020年ビジョンに向け、当社グループが一丸となった取り組みを進めていきます。

こうしたグローバルな連結経営を支えるために、職場力の向上に努め、人材活用の多様性を高めるとともに、世界各国で活躍できる人材を育成していく計画です。さらに安全第一はもとより、法令の遵守をはじめとしたコンプライアンスを徹底し、社会貢献活動へも積極的に参画するなど、広く社会の信頼に応え、企業価値の向上をはかるとともに、社会との調和ある成長をめざしてまいります。

皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2014年7月  
取締役会長

豊田 鐵郎

取締役社長

大西 朗